

英語を楽しく

24, March

ギリシャ語のアルファ(A α)とベータ(B β)
から出たものでAがZまでの全体をいう。

☆ 今回はアルファベットについて



① アルファベットの「I」は英文の中でどこに入っても大文字、そのわけ
説1

英米人（限らず誰でもそうと思うが）は、まず一番身近な存在として自分自身、次に家族、親戚という順づけをする。このことから最も身近な（大切な）自分=I を文のどこにあっても大文字で表す。

説2

「I」という文字が 英文中に一つだけあれば、どう？目立つ？目立たない
ということで、「I」はいつも大文字。

Anyway i will be here from morning to night. やはり「i」は目立たない。
（とにかく私は朝から夜までここにしよう。）

② アルファベットの「i」「j」共に「i」「j」の上に「・」「・」が付
いているのは小さい文字を少しでも大きく見せるために考え出されたら
しいです。

☆ アルファベットの大文字から小文字が生まれた 例

でもなぜ大文字と
小文字が使われる
のがわかるせん

A Q q G g
変形したもの

B B H H
大文字の一部分をとったもの

C c S s
小さくなったもの

W は U が 2 つつながったもの

だから double U と言います。
アブデュウ ユー

以上のことは皆さんも知っておられたことと思いますが、文字の作り方と
いうのは西洋東洋似たようなものではないでしょうか。

カタカナの「ア」は 阿の一部から
「オ」は 於の一部から
(於は於の旧字)
「ソ」は 曾の一部から

ア 阿 於 ← この字
は ない
ソ 曾 オ 於 → お
ひらがなの

ひらがなの「く」は 久(く)をくずしたもの
「は」は 波(は)をくずしたもの
「わ」は 和(わ)をくずしたもの
和 → 和 → わ

久 → く → く
波 → 波 → は

◎ 人間の考え方は 文字や言語においても、さほど大きな違いがないと言われてい
ます。英語の発音にしても他の言語の発音にしても、母国語としない言葉でも人は
十分通じる発音が出来ると言うことです。